

# 2023年12月第3週 中国のCOVID-19感染状況と冬季呼吸器疾患

2023.12.16 吉川淳子（中国執業医師 南京市）

## CONTENTS

- 1. 中国 CDC 発表の11月のCOVID-19感染状況……1
- 2. 中国 COVID-19 参考資料 …… 4
- 3. 中国のインフルエンザ動向（中国国家インフルエンザセンター第49週（12.4～10）週報） …… 6
- 4. 北京市の法定感染症動向（北京市衛生健康委『今週の感染症』第49週（12.4～10） …… 6
- 5. 国家衛生健康委員会 冬季呼吸器感染症対応状況についての記者会見（2023.12.10） …… 6
- 6. 『突発事件応急医療管理方法（試行）』の制定と実施（2023.12.8） …… 7
- 7. 冬季小児呼吸器疾患の現状と、肺炎マイコプラズマの薬剤耐性 …… 8

## 1. 中国 CDC の月次レポート

### 全国 COVID-19 感染状況

2023.12.12 発表分<sup>1</sup>（2023年11月分）全文

#### 一、全国の COVID-19 重症と死亡症例の報告状況

2023年11月1～30日、全国31の省(自治区、直轄市)と新疆生産建設兵団が報告した新規重症症例は135例、死亡症例は8例(全数が基礎疾患に加え COVID-19 感染による死亡)であった(図 1-1)。

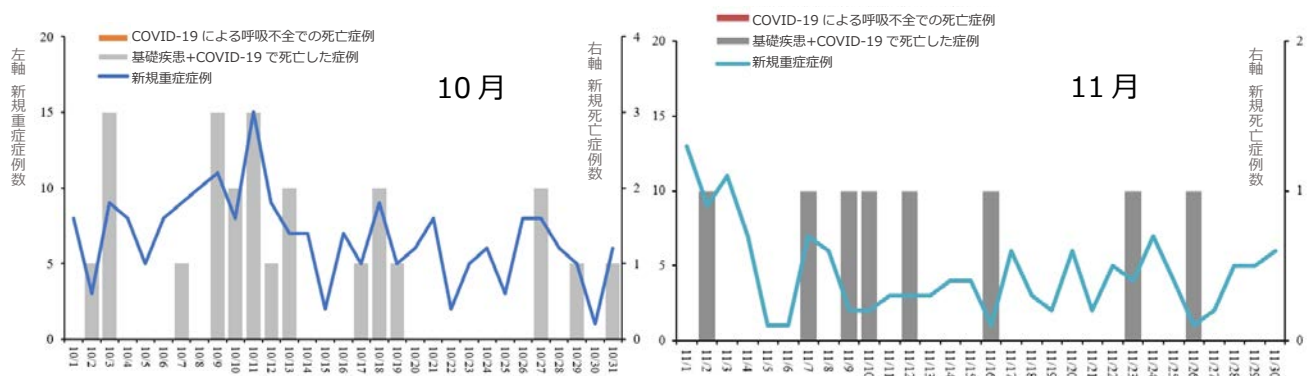


図 1-1 2023年10～11月 全国 COVID-19 新規重症症例と死亡症例の報告状況 中国 CDC

<sup>1</sup> 『全国新型冠状病毒感染疫情情况』中国 CDC HP

2023.12.12 発表分 [https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb\\_11803/jszl\\_13141/202312/t20231212\\_271320.html](https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb_11803/jszl_13141/202312/t20231212_271320.html)

2023.11.10 発表分 [https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb\\_11803/jszl\\_13141/202311/t20231110\\_270578.html](https://www.chinacdc.cn/jkzt/crb/zl/szkb_11803/jszl_13141/202311/t20231110_270578.html)

## 二、全国発熱外来診療状況

2023年11月1～16日、全国31の省（自治区、直轄市）と新疆生産建設兵団が報告した発熱外来診療数は18.0万人前後で推移し、11月17日にこの間で最小の15.3万人を記録。その後は波動的に上昇し、11月27日には当月最高の33.8万人となり、11月30日には31.3万人に下降した（図1-2）。

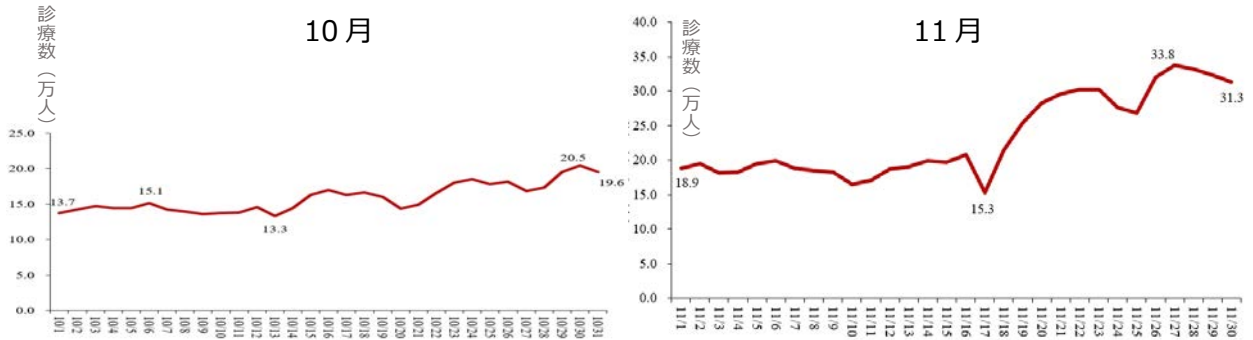


図1-2 2023年10～11月 全国発熱外来診療人数の変化 中国 CDC

## 三、定点病院サーベイランス状況

2023年11月1～30日、全国定点病院での外来、救急外来受診者に占めるインフルエンザ様症例（ILI）の比率は引き続き上昇した。2023年第45週（11月6～12日）の5.4%から短期間で第48週（11月27日～12月3日）には8.2%に増加した（図1-3-1）。

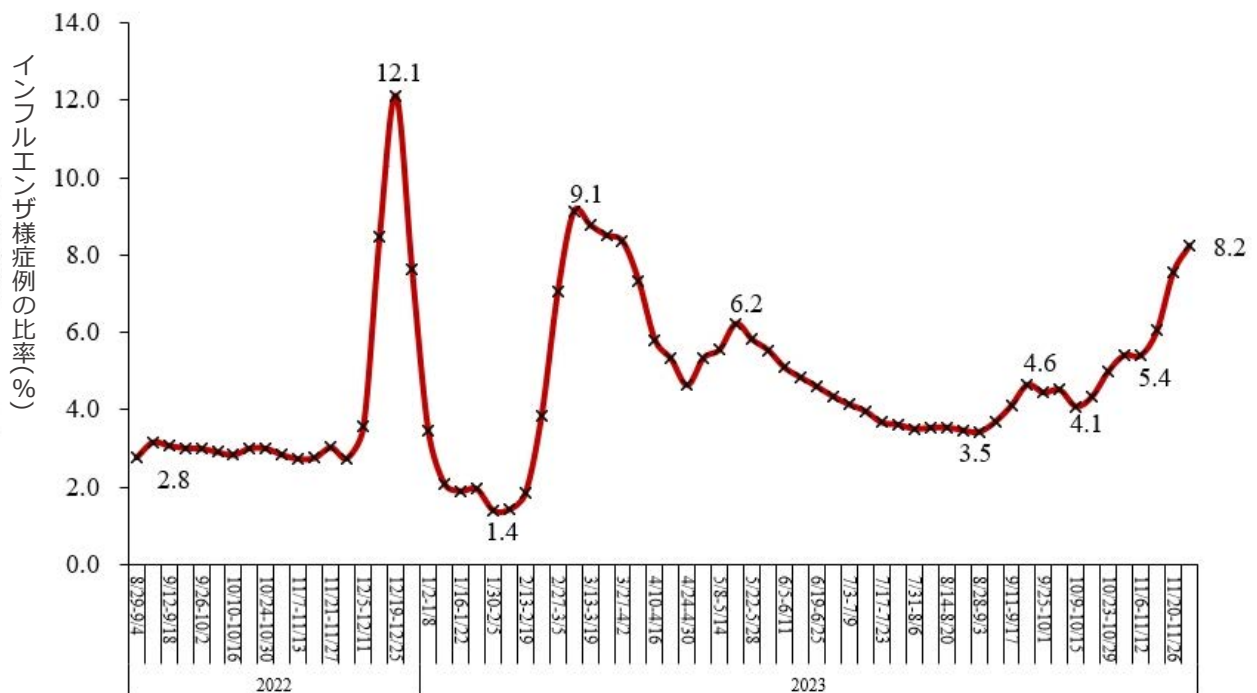


図1-3-1 全国定点病院報告のインフルエンザ様症例比率の変化 中国 CDC

インフルエンザ様症例（ILI）の SARS-CoV-2 陽性率は引き続き下降し、2023 年第 44 週（10 月 30 日～11 月 5 日）の 3.5%から、第 48 週（11 月 27 日～12 月 3 日）には 1.2%となった（図 1-3-2）。

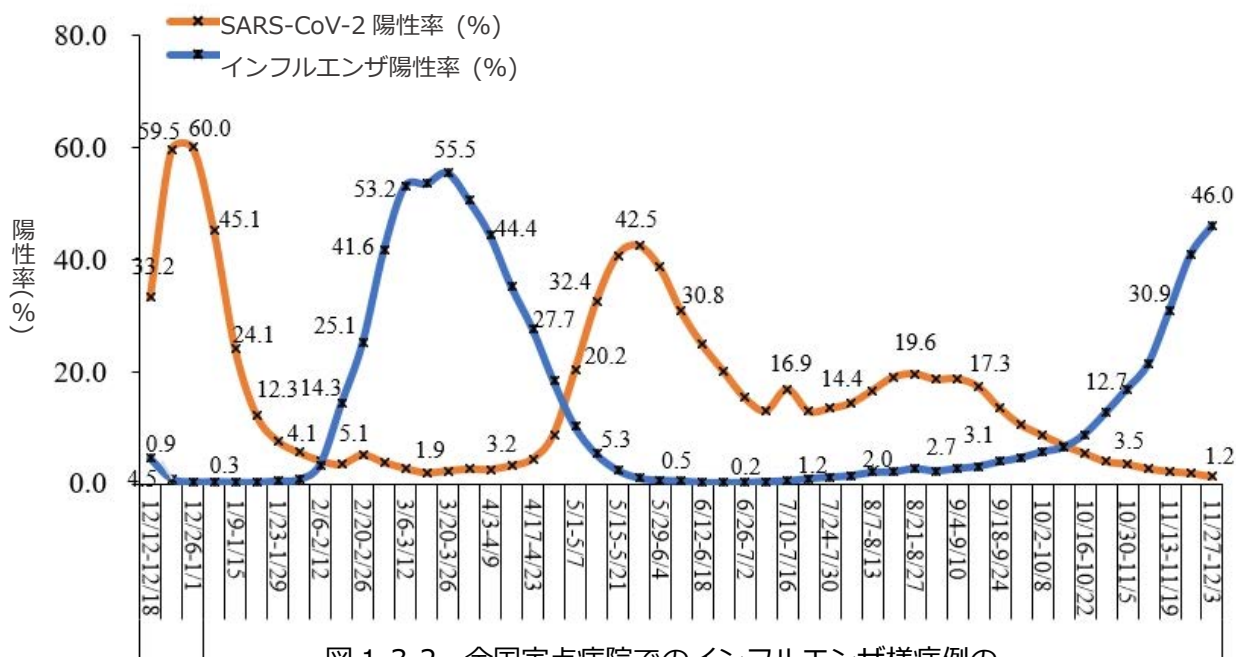


図 1-3-2 全国定点病院でのインフルエンザ様症例の SARS-CoV-2 とインフルエンザ陽性率の変化 中国 CDC

#### 四、本土症例ウイルス変異サーベイランス状況

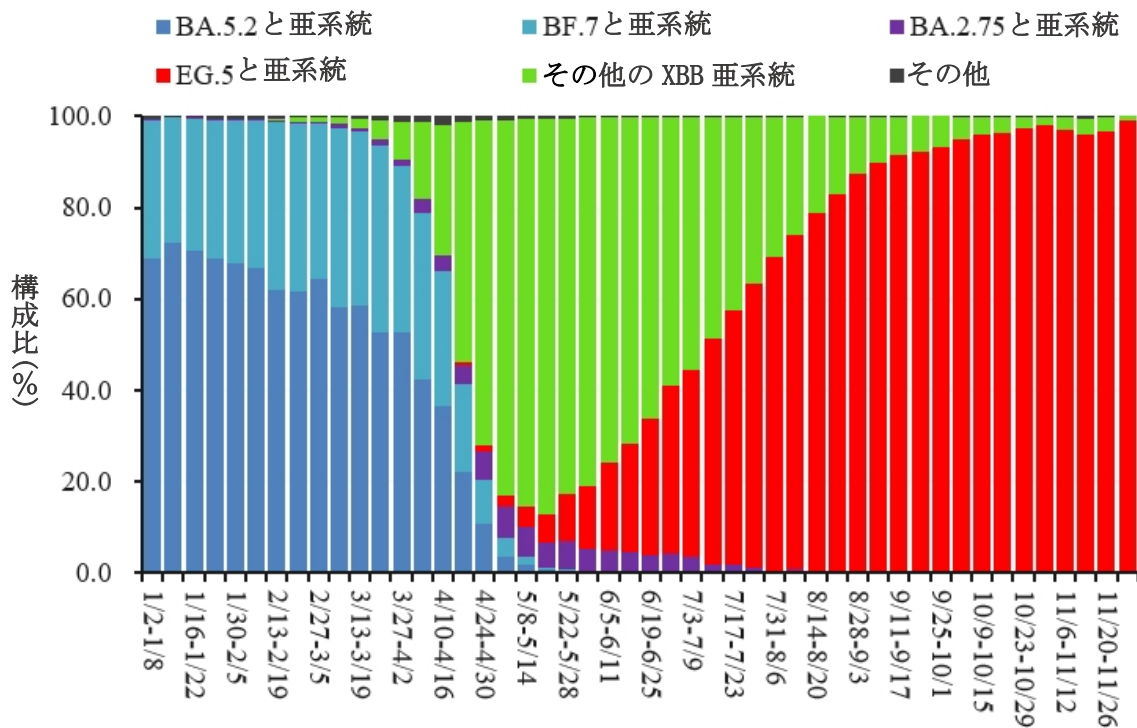


図 1-4 全国の SARS-CoV-2 本土症例変異株の変化 中国 CDC

2023年11月1～30日、全国31の省（自治区、直轄市）と新疆生産建設兵団から計5,255例の本土症例の有効な SARS-CoV-2 ゲノムシーケンスが報告され、全数がオミクロン株で、73の亜系統が存在した。主な流行株はXBB系列の変異株で、比率が上位3種の流行株はXBB.1.9と亜系統、XBB.1.16と亜系統、XBB.1.22と亜系統の順であった。

サンプル採取日別に見ると、XBBと亜系統の比率は引き続き高く、2023年第44週（10月30日～11月5日）に99.7%、第45～第47週には99.2～99.7%の間、第48週（11月27日～12月3日）には100.0%となった（図1-4）。

## 2. 記者による中国 COVID-19 参考資料

### (1) GISAID ホームページ<sup>2</sup>より

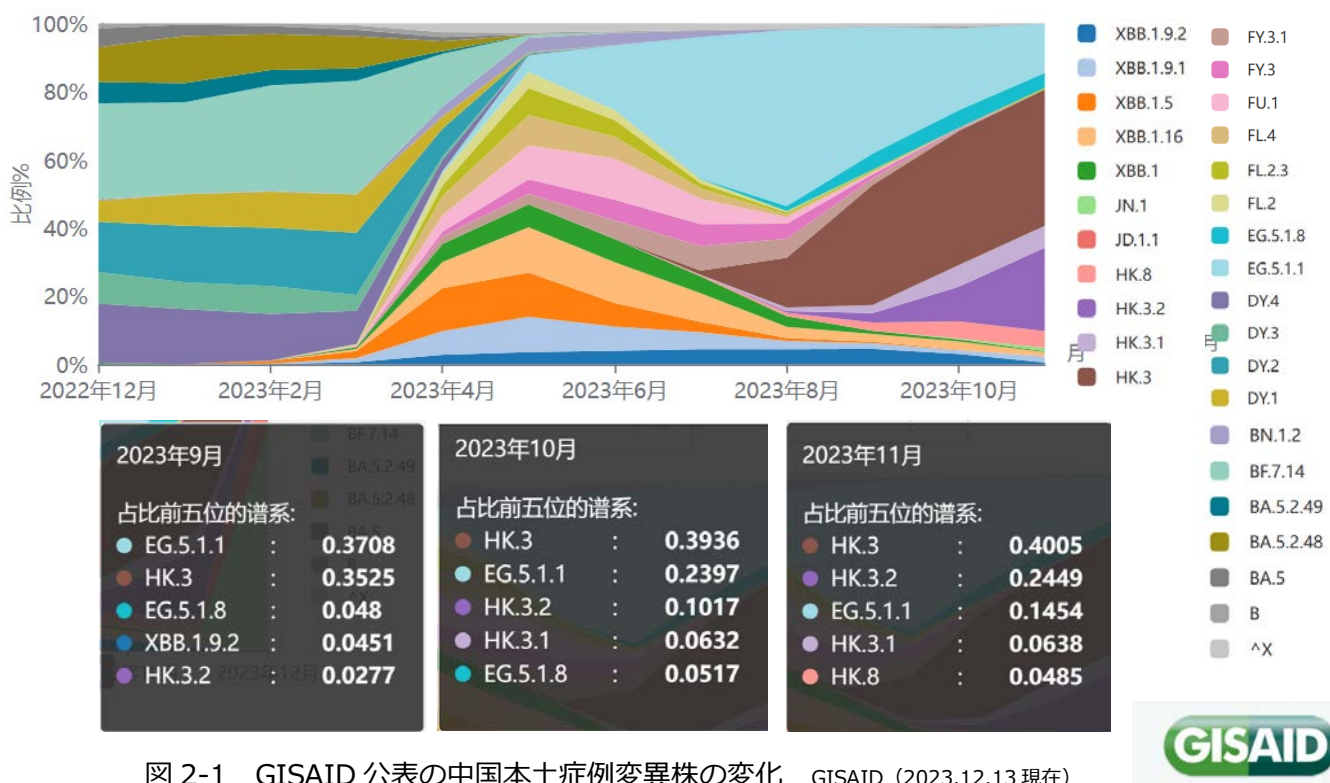


図 2-1 GISAID 公表の中国本土症例変異株の変化 GISAID (2023.12.13 現在)

上位5系統は引き続き、EG.5.1.1（XBB.1.9.2の孫系統）とその子系統であるHK系統である。

### (2) 第1波以降の中国 CDC 発表 COVID-19 データ集計

<sup>2</sup> GISAID HP <https://gisaid.org/phylogenetics/china-cn/>

表2-1 中国本土 COVID-19関連新規重症、死亡症例数

	新規重症症例	死亡症例	うち COVID-19で呼吸不全による死亡	基礎疾患+ COVID-19感染による死亡
2022/12/8~2023/1/12		59,938	5,503	54,435
1/13~19		12,658	681	11,977
1/20~26		6,364	289	6,075
1/27~2/2		3,278	131	3,147
2/3~9		912	27	885
2/10~16		98	1	97
2/17~23		7	0	7
2/24~3/2		0	0	0
3/3~9		0	0	0
3/10~16		0	0	0
3/17~23		0	0	0
3/24~30		0	0	0
3/31~4/6		0	0	0
4/7~13		0	0	0
4/14~20		0	0	0
4/21~27		0	0	0
5/1~31	2,777	164	3	161
6/1~30	1,968	239	2	237
7/1~31	455	65	0	65
8/1~31	532	43	0	43
9/1~30	398	45	1	44
10/1~31	209	24	0	24
11/1~30	135	8	0	8
12/8~合計		83,843	6,638	77,205

\*1日あたりの死亡数ピークは2023.1.4の4,273人  
 \*2022年12月~2023年2月分は在院死亡症例。  
 (中国CDC発表データより筆者作成)

11月は前月に比べ、新規 COVID-19 重症者数 (209→135 人)、死亡者数 (24→8 人)とも減少、5月の COVID-19 第2波以降の最少記録を更新した (表 2-1)。発熱外来受診者数は11月下旬に33.8万人を記録、5月の第2波時 (最高36.0万人) に迫るものとなった。11月最終週の SARS-CoV-2 陽性率は1.2%と2023年1月第1波以降の最低値、インフルエンザ陽性率は46.0%と上昇して3月の50%台に迫り (表 2-2)、

最近の発熱外来受診者の多くが COVID-19 以外の疾患 (主にインフルエンザ) によることを示している。

表2-2 中国本土 発熱外来、インフルエンザ様症例 (ILI) の状況

発熱外来受診者数 (人)		定点病院インフルエンザ様症例 (ILI)				
集計日	全体	集計週	外来受診者中の割合 (ILI%)	SARS-CoV-2 陽性率 (%)	インフルエンザ陽性率 (%)	
ピーク値	286.7万 (12/23)	週 No	ピーク値	12.1 (12/19~25)	60.35 (12/26~1/1)	55.5 (3/20~26)
2023年		3	1/16~22	2.0	13.10	0.14
1/23	11.0万	4	1/23~29	2.0	8.3	0.5
1/30	16.4万	5	1/30~2/5	1.4	5.7	0.6
2/6	13.7万	6	2/6~12	1.4	4.1	3.4
2/13	12.8万					
2/16	12.4万	7	2/13~19	1.8	3.4	14.3
2/23	14.7万	8	2/20~26	3.8	5.1	25.1
3/2	30.4万	9	2/27~3/5	7.1	3.8	41.6
3/9	48.1万	10	3/6~12	9.1	2.7	53.2
3/16	48.3万	11	3/13~19	8.8	1.9	53.5
3/23	45.5万	12	3/20~26	8.5	2.3	55.5
3/30	42.3万	13	3/27~4/2	8.4	2.6	50.6
4/6	38.4万	14	4/3~9	7.3	2.6	44.4
4/13	30.1万	15	4/10~16	5.8	3.2	35.3
4/20	23.6万	16	4/17~23	5.3	4.4	27.7
4/27	22.1万	17	4/24~30	4.6	8.8	18.3
5/1	18.3万	18	5/1~7		20.2	10.2
		19	5/8~14		32.4	5.3
5/16	36.0万	20	5/15~21	6.2	40.7	2.4
5/31	29.4万	21	5/22~28	5.8	42.5	1.0
6/1	28.8万	22	5/29~6/4	5.5	38.6	0.6
		23	6/5~11		30.8	0.5
		24	6/12~18		24.8	0.2
		25	6/19~25		20.1	0.2
6/30	16.4万	26	6/26~7/2	4.4	15.4	0.2
7/1	16.2万	27	7/3~9	4.1	13.0	0.4
		28	7/10~16		12.0	0.5
		29	7/17~23		12.9	
7/31	12.4万	30	7/24~30	3.6	13.4	1.2
8/1	12.6万	31	7/31~8/6	3.3	14.4	
8/8	13.6万	32	8/7~13			2.0
		33	8/14~20		19.0	
8/25	11.4万	34	8/21~27	3.5	19.6	2.7
8/31	12.6万	35	8/28~9/3	3.4	18.6	
9/1	11.6万	36	9/4~10			
9/18	17.7万	37	9/11~17		17.3	3.1
9/29	13.5万	38	9/18~24	4.6		
9/30	14.1万	39	9/25~10/1	4.5	10.5	4.6
10/1	13.7万	40	10/2~8	4.5	8.7	
10/6	15.1万	41	10/9~15	4.1		
10/13	13.3万	42	10/16~22			
10/30	20.5万	43	10/23~29	5.0	4.0	12.7
10/31	19.6万	44	10/30~11/5		3.5	
11/1	18.9万	45	11/6~12	5.4		
11/17	15.3万	46	11/13~19			30.9
11/27	33.8万	47	11/20~26			
11/30	31.3万	48	11/27~12/3	8.2	1.2	46.0

(中国CDC発表データより筆者作成)



### 3. 中国のインフルエンザ動向（中国国家インフルエンザセンター第 49 週（12.4～10）週報）<sup>3</sup>

・外来受診者中のインフルエンザ様症例の割合（ILI%）は、南方 9.1%、北方 7.5%と引き続き上昇中である。

・インフルエンザの系統は、南方、北方とも A(H3N2)亜系統が中心で、次が B(Victoria)系統となっている（表 3-1、図 3-1）。

・全国で発生したアウトブレイクは 424 例で、48 週の 420 例、47 週の 401 例からやや増加した。

	第 49 週		
	南方省份	北方省份	合計
検査数	6050	6469	12519
陽性数(%)	3276(54.1%)	2842(43.9%)	6118(48.9%)
A 型	2826(86.3%)	2444(86.0%)	5270(86.1%)
A(H3N2)	2817(99.7%)	2383(97.5%)	5200(98.7%)
A(H1N1)pdm09	9(0.3%)	61(2.5%)	70(1.3%)
A(unsubtyped)	0	0	0
B 型	450(13.7%)	398(14.0%)	848(13.9%)
B 未分系	5(1.1%)	3(0.8%)	8(0.9%)
Victoria	445(98.9%)	395(99.2%)	840(99.1%)
Yamagata	0	0	0

表 3-1 中国のインフルエンザ様症例検査結果  
中国国家インフルエンザセンター 2023 年第 49 週週報より

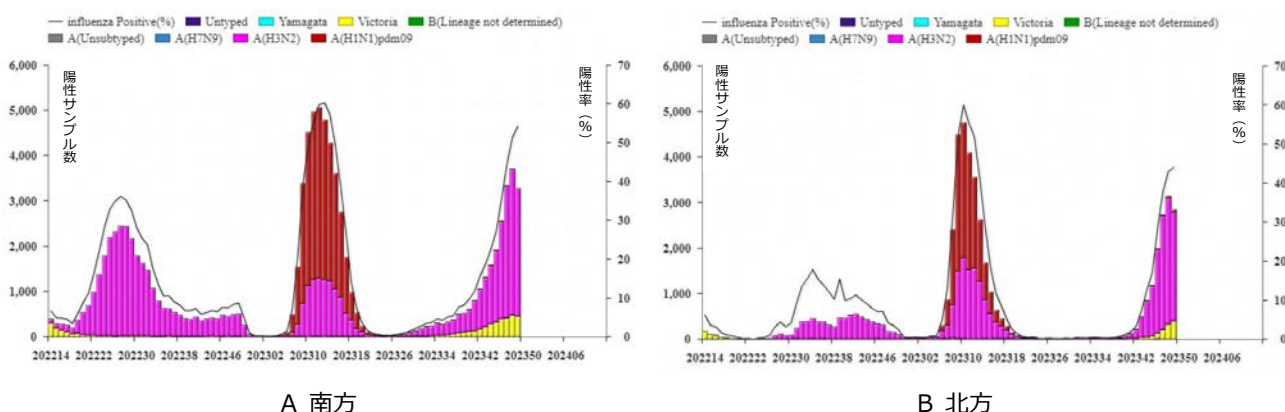


図 3-1 中国のインフルエンザ様症例陽性率（ILI%）と内訳（横軸は週）  
中国国家インフルエンザセンター 2023 年第 49 週週報より

### 4. 北京市の法定感染症動向（北京市衛生健康委『今週の感染症』第 49 週（2023.12.4～10））<sup>4</sup>

第 49 週報告の法定感染症は 18 種 82,244 例（本年最高となった前週の 86,045 例より減少）、死亡 7 例。症例数の多い順にインフルエンザ、COVID-19、手足口病、その他の感染性下痢、ウイルス性肝炎、この 5 種で法定感染症発病報告の 99.5%となる（マイコプラズマ等の感染症は法定感染症に含まず）。

### 5. 国家衛生健康委員会 冬季呼吸器感染症対応状況についての記者会見（2023.12.10）<sup>5</sup>

国家衛生健康委員会 宣伝司副司長 米鋒 報道官

<sup>3</sup> 中国国家インフルエンザセンター第 49 週週報 2023.12.14 <https://ivdc.chinacdc.cn/cnic/zyzx/lgzl/202312/P020231215437595630480.pdf>

<sup>4</sup> 『本周疫情』北京市衛生健康委 2023.12.12 [https://wjw.beijing.gov.cn/bmfw\\_20143/jkzs/mzyq/202312/t20231213\\_3498808.html](https://wjw.beijing.gov.cn/bmfw_20143/jkzs/mzyq/202312/t20231213_3498808.html)

<sup>5</sup> 『国家卫生健康委员会 2023 年 12 月 10 日新闻发布会』国家衛生健康委 HP 2023.12.10 <http://www.nhc.gov.cn/xcs/s3574/202312/1d8f08ea280748bc8685333846ac308a.shtml>

- ・現在の呼吸器疾患、特に小児の呼吸器疾患増加の状況に対し、国家卫生健康委、国家中医药管理局、国家 CDC は、引き続きモニタリングと評価の強化、各地の医療資源提供と診療の調整、医療機関内や医療機関相互の医療資源の統一的分配、患者数に応じた診察室、診療エリアの増設、病床の拡充を指導した。また 2 級病院、婦幼保健院<sup>6</sup>、中医病院、基層医療衛生機関に対し、小児科の診療時間の延長、診療プロセスの最適化、医療サービス効率の向上を指導し、小児科診療の需要に確実に応えることを徹底した。
- ・現在、全国の 2 級以上の医療機関の小児呼吸器疾患の診療数は、全体として波動的に下降傾向で、一部の大きい小児専門病院や総合病院の小児科の診療数増加の状況は一定程度緩和されている。
- ・発熱外来、救急外来の全体的な状況からみて、直近の全国の呼吸器疾患の診療数は比較的落ち着いており、基層の医療機関受診の流れもある。総体として全国の正常な医療に影響するものではない。
- ・小中学校、幼稚園、託児所、老人ホーム、社会福祉施設等の重点施設や人が密集する場所では、換気、消毒等を徹底し、健康知識の普及や健康モニタリングを強化し、個人防護を行ない、疾病の伝播を減らし、感染リスクを減少させる。
- ・継続してワクチン接種を実施し、接種提供態勢を充実させる。

## 6. 『突発事件応急医療管理方法（試行）』<sup>7</sup>の制定と実施（2023.12.8）

国家卫生健康委は 12 月 8 日付けで『突発事件応急医療管理方法（試行）』についての通知を出し、同日より施行するとした。

### 主な内容

- ・「突発事件」とは、社会に重大な危害を及ぼす（可能性のある）自然災害、事故、公衆衛生上の緊急事態、社会の安全にかかわる事態を指し、生命至上の原則の下、迅速な発見、報告、処置により、有効な応急医療を展開する。
- ・発見ルート：①各地の卫生健康行政部門、医療機関。②メディア、市民の報告、その他の部門の報告等。
- ・突発事件の情報を得た責任報告部署は、2 時間以内に所属地の卫生健康行政部門に報告する。
- ・報告を受けた卫生健康行政部門は、直ちに現場の応急医療を組織し、2 時間以内に同級の人民政府と一級上の卫生健康行政部門に報告する。
- ・死亡例と重篤例が 5 例を超える重大突発事件や、重大突発事件を引き起こす可能性がある突発事件については、各級の卫生健康行政部門は 2 時間以内に国家卫生健康委に報告する。けが人や死亡者の状況

<sup>6</sup> 婦幼保健院：出産と、妊娠期～産後の女性や新生児、小児の医療を担当する医療機関

<sup>7</sup> 『关于印发《突发事件医疗应急工作管理办法（试行）》的通知』国家卫生健康委 2023.12.11  
<http://www.nhc.gov.cn/ylyjs/pqt/202312/db6375e7dda04108ae2afc9670ab58.shtml>

が不明の場合は、先に事件の状況を報告する。国家衛生健康委は國務院に報告する。

- ・資源、専門家、傷病者、救急治療の4つを集中し、重症患者の治療は「1人1方針」の原則で行なう。
- ・災害、感染症、中毒、放射線被ばく等の種類に応じた応急医療部隊を設置。
- ・その他、各級応急医療隊の支援、患者のトリアージ、医療隊の研修、知識の普及等を規定。

## 7. 冬季小児呼吸器疾患の現状と、肺炎マイコプラズマの薬剤耐性

### ① 12月、中国本土の肺炎マイコプラズマ流行は下降

遼寧省瀋陽市兒童病院 小児科 郝亮亮 主任醫師 (2023.12.5 取材)<sup>8</sup>

- ・当院の肺炎マイコプラズマ感染患者は以前の30%前後に減少、インフルエンザ患者が増えている。

首都医科大学附属北京兒童病院 申昆玲 教授 (2023.12.14 報道)<sup>9</sup>

・この間、インフルエンザ、肺炎マイコプラズマ、RSウイルスなどの感染がみられるが、80%の児童は時間の推移と抗菌、抗ウイルス等の対症治療でしだいに好転し、上気道感染にとどまっている。約15%の児童は周辺に広まり、約5%の児童は肺炎に発展する可能性がある。そのうちごく少数が重症となり、重症肺炎、胸水、重篤な場合は呼吸不全や多臓器不全等を引き起こす。

・重症化の危険因子：早産児、慢性呼吸器系発育不全、先天性心疾患等の基礎疾患がある者、免疫不全、抗がん化学療法中、脳性麻痺等。

・重症例に対する非侵襲的換気療法、侵襲的換気療法、ECMO等の臨床での応用は成熟しており、各種呼吸器疾患の致死率はほぼ0である。感染後の検査で診断と治療法を確定することが最重要である。

・重症マイコプラズマ肺炎の児童は、回復期に状況に応じてステロイド吸入を2~4週間おこなうことで、粘膜の炎症を緩和し、痰や咳嗽を減らすことができる。

### ② 近年の北京での肺炎マイコプラズマの流行 (図7-1)

・北京では2007年、2011年、2014年、2016年冬季~2017年夏季、2018年秋季~2019年夏季末に肺炎マイコプラズマが流行した<sup>10,11</sup>。COVID-19対策が開始された2020年以降の陽性率は低い。

<sup>8</sup> 『肺炎支原体感染人数明显下降，但仍处于流感高发季节，专家提醒——病毒感染康复后两周内仍需加强防护』東北新聞（瀋陽日報）2023.12.6 <http://liaoning.nen.com.cn/network/liaoningnews/lnewskejiao/2023/12/06/586812215227585440.shtml>

<sup>9</sup> 潘嘉毅『全方位防治冬季儿童呼吸道疾病』新民晚报 2023.12.14 <http://news.xinmin.cn/2023/12/14/32544838.html>

<sup>10</sup> 戴淑芝,王淑雅,王莹,et al. 门诊急诊不同年龄段肺炎支原体抗体阳性儿童特征分析[J].中国医学前沿杂志:电子版, 2022, 14(5):5. <https://rs.yiigle.com/cmaid/1378642>



・2016年3月～2021年2月、首都小児科研究所附属児童病院の外来、救急外来を受診した肺炎マイコプラズマ感染疑似症例

489,753例（うちMP-IgM抗体陽性患者70,259例、陽性率14.35%）を対象とした後ろ向き研究<sup>10</sup>

・肺炎マイコプラズマIgM抗体陽性者の年齢別分布は

3～5歳（43.15%）>

6～14歳（29.80%）>

1～2歳（22.92%）>

1歳未満（4.13%）の順であった。

・男女別の陽性率は、女兒（陽性35,347例/232,438例、陽性率15.21%）は、男児（陽性34,912例/257,315例、陽性率13.57%）より高かった。

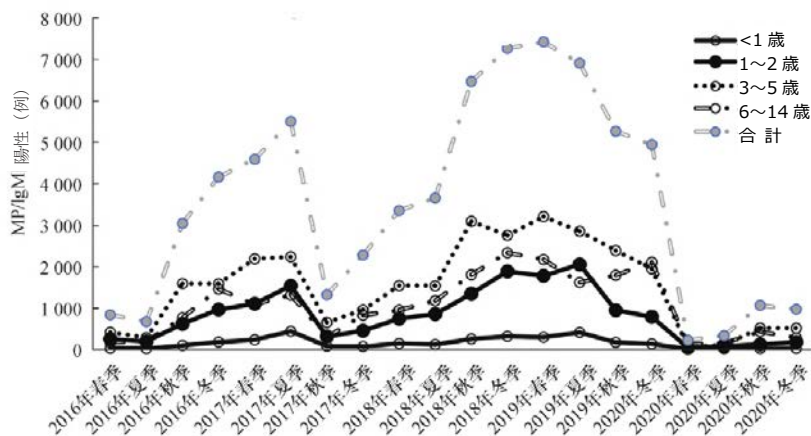


図7-1 2016～2020年北京肺炎マイコプラズマIgM抗体陽性小児の推移<sup>10</sup>  
（首都小児科研究所附属児童病院外来、救急外来受診者）

### ③ 2016～2019年北京児童病院に市中肺炎で入院した小児の陽性率と薬剤耐性<sup>11</sup>（表7-1）

・2016年1月～2019年9月、北京児童病院に市中肺炎で入院した17歳以下の8,691例（男児4,958例、女兒3,733例）についての後ろ向き研究。

・うち2,442例がRNA増幅検出法（SAT）<sup>12</sup>で肺炎マイコプラズマ陽性（28.10%）であった。

・2017年の肺炎マイコプラズマ検出率は31.36%で、他の年より高かった。

・夏秋の検出率は32.21%で最も高い（北京、蘇州は夏秋、上海は春夏、広州は秋冬に多い傾向）。

・女兒の検出率（29.65%）は男児（26.93%）より高かった。

・学齢期（6～17歳）の陽性率は37.71%、学齢前期（3～5歳）は35.06%と他の年代より高く、学校や幼稚園等の集団生活が感染を引き起こしやすいことを示唆している。

・薬剤耐性率は、蛍光PCR法で測定した検体のうち、マクロライド系抗菌薬に対する作用点の23S rRNAでのA2063G及びA2064G変異があったものの比率で表わし、測定した1,524例のうち1,386

<sup>11</sup>王亚翠, 吴喜蓉等. 2016年至2019年北京住院儿童肺炎支原体感染流行病学特征和耐药性[J]. 中华实用儿科临床杂志, 2022, 37(14): 1082-1085. DOI: [10.3760/cma.j.cn101070-20210926-01159](https://doi.org/10.3760/cma.j.cn101070-20210926-01159)

<sup>12</sup> SAT (Simultaneous Amplification and Testing) : リアルタイム蛍光核酸恒温増幅検出法 (RNA増幅検出法)

例（90.94%）が該当し、北京地区の薬剤耐性の深刻さを裏付けた。性別、年齢、季節（環境の温度や湿度）による差異はみられなかった。

表7-1 2016～2019年北京児童病院入院患者 肺炎マイコプラズマ陽性率と薬剤耐性率\*

項目	肺炎マイコプラズマ陽性率[% (例)]	$\chi^2$ 値	P値	肺炎マイコプラズマ薬剤耐性率[% (例)]	$\chi^2$ 値	P値
時間	2016年 26.23 (372/1,418)	16.11	0.001	88.19 (224/254)	4.53	0.21
	2017年 31.36 (656/2,092)			90.93 (321/353)		
	2018年 27.84 (819/2,942)			90.56 (422/466)		
	2019年 26.57 (595/2,239)			92.90 (419/451)		
性別	男 26.93 (1,335/4,958)	7.85	0.005	91.99 (758/824)	2.38	0.123
	女 29.65 (1,107/3,733)			89.71 (628/700)		
年齢	<1歳 11.20 (232/2,072)	509.89	<0.001	97.22 (70/72)	4.49	0.213
	1～2歳 22.01 (318/1,445)			89.93 (134/149)		
	3～5歳 35.06 (732/2,088)			91.67 (418/456)		
	6～17歳 37.71 (1,160/3,076)			90.20 (764/847)		
季節	春(3～5月) 17.00 (327/1,924)	315.15	<0.001	91.77 (223/243)	0.52	0.915
	夏(6～8月) 32.21 (726/2,254)			90.34 (449/497)		
	秋(9～11月) 39.76 (852/2,143)			90.83 (426/469)		
	冬(12～2月) 22.66 (537/2,370)			91.43 (288/315)		

\*薬剤耐性率は、マクロライド系抗菌薬に対する作用点の23S rRNAでのA2063G及びA2064G変異の比率  
<sup>11</sup> 『2016年至2019年北京住院儿童肺炎支原体感染流行病学特征和耐药性』より

#### ④ 2021年3月～2022年7月 河南省の研究<sup>13</sup>

河南省三門峽中心病院で2021年3月～2022年7月に治療した呼吸器感染症の12歳以下の2,693例（男児1,429例、女児1,264例）のうち、749例（27.81%）が肺炎マイコプラズマ抗体陽性であった。年齢別では3～6歳の陽性率が39.88%と最も高かった。発病季節は秋季が最も高く、46.51%であった。各薬剤に対する耐性状況は表7-2に示した。

表7-2 2021年3月～2022年7月 河南省 肺炎マイコプラズマ抗体陽性小児749症例の薬剤耐性状況

抗菌薬剤	耐性症例数	耐性率(%)
エリスロマイシン	417	55.67
アセチルスピラマイシン	352	47.00
シプロフロキサシン	329	43.93
アジスロマイシン	219	29.24
クラリスロマイシン	198	26.44
クリマイシン	173	23.10
ロキシスロマイシン	171	22.83
ジョサマイシン	162	21.63
モキシフロキサシン	131	17.49
レボフロキサシン	112	14.95
ミノサイクリン	98	13.08

<sup>12</sup> 『2021—2022年某医院呼吸道感染患儿肺炎支原体感染流行特征』より

<sup>13</sup> 彭献华,李冰冰等.2021-2022年某医院呼吸道感染患儿肺炎支原体感染流行特征[J].中华医院感染学杂志,2023,33(18):2851-2854. <https://zhyy.cbpt.cnki.net/WKB3/WebPublication/paperDigest.aspx?paperID=6785e3fe-08c9-46f8-bdbd-7d77780efff0>